

# 「北京・上海と通して」的・・LIFE STYLE

今回は北京・上海の商業施設を紹介します。



日本では、大型商業施設は百貨店を中心とする高額/高品質を扱う施設とGMSを中心としたショッピングモールを中心とする手軽な価格/生活商品を扱う施設の2通りに大別することができ、日本人の利用者は、その時のニーズに合わせて訪れる場を選択するよう感じられますが、一方中国の大型商業施設は施設構成こそショッピングモールの形態をとっており、テナント構成、ターゲットの両面からしてそのほとんどが百貨店の延長に存在しているように思えました。高所得者世帯を対象にし、施設の立地も市内中心部に集中していました。

◀ ラッフルズシティ上海

上海でキャピタモールアジアの商業施設「ラッフルズシティ上海」は、2003年にオープンしており、選別されたテナント構成、利用者の回遊性を考慮したフロアー計画により賑わいを作り出していました。「蛇口プラザ」は、2011年にオープンした、大型のフロアー面積を誇る施設です。スタイリッシュで落ち着いた環境デザインに対して、デザイン性の高いテナントを配置することで調和が取れていました。また、全体サイン計画も綿密に計画されており、施設規模に対して的確な回遊性が保たれていました。



▲ 虹口プラザ

◀ 正大広場



昨今、中国進出のクライアントの話をよく耳にしますが、中国の動向と今後の日本企業の動向を見据え、自分たちの活躍の場を早くから考えていきたいと思いました。